



目次

● 一診療連携一 「緩和ケア病棟開設のご案内」	2
「緩和ケア外来の予約方法について」	4
● 一職場紹介一 「医療安全管理室」	5
● 一お知らせ一 「リハビリテーション室の拡充について」	6
● 一新入職員紹介一	7

診療連携

緩和ケア病棟開設のご案内



鹿児島市医師会病院 院長 田畑 肇雄

がんは日本人の死因の第1位で、生涯のうちに約2人に1人はがんにかかり、3人に1人はがんで命を失うと推定されています。厚生労働省のがん対策の取り組みにより、がんの年齢調整死亡率は減少傾向に推移するものの、人口の高齢化とともにがんの罹患者数、死亡者数は今後も増加していくことが見込まれています。2007年のがん対策推進基本計画の重点的に取り組む課題にがんと診断された時から緩和ケアを推進していくことが掲げられています。当院は開院以来2次救急を含む急性期医療を担ってきました。これまでがん患者さんご本人・ご家族が不本意で悔いの残る治療やお別れをされ、われわれにとっても十分なケアができないことがあったことを経験してきました。そこで数年前に緩和ケア病棟立ち上げを検討しましたが、施設基準やスペースの都合で断念しました。

新臨床研修医制度の導入以来、鹿児島大学医学部の入局者減少に伴い医局からの派遣医師の減少・引き上げが起こるようになりました。当院でも2011年夏には小児科医の減員による小児救急医療拠点病院の返上、2012年度からは麻酔科減員・呼吸器外科引き上げ・外科減員・放射線科減員・呼吸器内科減員、2013年4月には呼吸器内科、9

月には小児科引き上げという事態になりました。診療科・医師の減少により病床稼働率は漸減し、経常収支は悪化してきました。減少した病床の有効活用を検討した結果、会員施設と競合せず今後の需要からみて緩和ケア病棟を開設することになりました。

今年5月既存施設を緩和ケア病棟に改修することが担当理事会で承認され、8月から8階病棟を緩和ケア病棟として改修工事を開始しました。職員も緩和ケアについての学習・研修に取り組みました。8月23日、27日には「がん治療連携参加医療施設」を対象に研修会を開催し、36施設51人のご参加をいただき、9月1日付けで緩和ケア病棟として認可されました。各診療科の担当医に加えて、11月21日からは緩和ケア専任医師として田中先生が着任されました。

病棟の概要としては、個室 A2室（室料5,000円）、個室 B8室（室料2,000円）、3人部屋7室の計31床で運用しています。その他、家族控え室、キッチンダイニング、デイルーム、面談室等を備えています。

会員施設や在宅でのケア・看取りの困難ながん患者さんで緩和ケア病棟入院を希望される場合はご紹介お願いいたします。予約・ご相談は医療連携・相談室にお問い合わせ下さい。緩和ケア外来は毎週水・金曜日午後2時から5時になります。患者さんやご家族の満足される緩和ケアをスタッフ一同目指してまいります。



個室1 (5,000円) ※消費税別



個室2 (2,000円) ※消費税別



3人室 (左側)



家族控室



ファミリーキッチン



談話室 (ディルーム)

緩和ケア外来の予約方法について

- 緩和ケア外来は毎週水・金曜日の午後（午後2時～午後5時）完全予約制です。
 - ※1日あたりの予約枠は2人です。
 - 医療連携・相談室でご予約を承っております。
 - ※受付時間：月～土曜日 午前9時～午後4時30分（土曜日：午前9時～正午）
 - TEL：099-254-1125（内線788、789）
 - FAX：099-254-1308
 - 1）医療連携・相談室へお電話いただきますと、緩和ケア外来予約申込書（様式1）を折り返しFAXいたします。
 - ※緩和ケア外来予約申込書（様式1）は当院のホームページからもダウンロードいただけます。
 - 2）緩和ケア外来予約申込書の記載後、当院医療連携・相談室あてにFAX送信をお願いします。
 - 3）FAX受信しましたら、予約完了次第「予約票」（様式2）を折り返しFAX送信いたしますので、予約をされた患者様へお渡しください。
 - ※返信までに約30分程度を想定しています。
 - 4）患者様は受診当日に、「緩和ケア外来予約票」「健康保険証」「診療情報提供書」「診療情報（検査結果、フィルム等）」「お薬手帳」「当院の診察券（当院を受診したことがあり、診察券をお持ちの方）」をお持ちいただき、予約時間の15分前までに受付をお済ませください。
- ＜その他＞
- 患者様ご自身が受診される場合は、保険診療となります。
 - 患者様が受診できない場合は、ご家族だけの来院でも構いません。
 - ※その場合は、ご予約の際にお申し出ください。
 - ※ご家族のみ来院の場合は、相談料として3,150円（消費税込）をご負担いただきます。
 - 緩和ケア外来受診後、入院判定会議の結果入院が必要と判断され、病室が確保され次第、当院医療連携・相談室より入院日時をFAXにてお知らせいたします。

＜緩和ケア病棟入院までの流れ＞



様式1

様式1	
鹿児島市医師会病院 医療連携・相談室 行	FAX番号： 099-254-1308
<small>【連絡先】 TEL 099-254-1125</small>	
<small>※受付：月～土 午前9時～午後4時30分（土曜日：午前9時～正午）</small>	
<small>※緩和ケア外来日：毎週水・金（午後）【指定予約制】 ※午後2時～午後3時30分がごさいます。</small>	
<small>※1日あたりの予約枠が2人のため、①第一希望日～③第三希望日までにご記入ください。</small>	
鹿児島市医師会病院 緩和ケア外来予約申込書	
受診希望日	①第一希望 平成 年 月 日 () 午後 時 分
	②第二希望 平成 年 月 日 () 午後 時 分
	③第三希望 平成 年 月 日 () 午後 時 分
<small>【患者情報】 ※事前にカルテを提出するため、正確にご記入ください。</small>	
患者氏名	(フリガナ) _____ (漢字) _____
性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
生年月日	M・T・S・H 年 月 日
住所	〒 _____ 電話 () _____
紹介元病院に	入院中 <input type="checkbox"/> 通院中 <input type="checkbox"/>
その他	_____
<small>【紹介元医療施設情報】</small>	
医療施設名	_____
所在地	_____
電話	FAX _____
診療科名	主治医名 _____
連絡担当者	_____
<small>【注意事項】</small>	
<small>※FAX受信しましたら、予約完了次第「予約票」を折り返しFAX送信いたしますので、患者様へお渡しください。 (返信までに約30分程度を想定しています)</small>	

様式2

様式2	
緩和ケア外来予約報告書	
平成 年 月 日	
病院(医師)	鹿児島市医師会病院
先生 侍史	医療連携・相談室
(FAX)	TEL 099-254-1125 FAX 099-254-1308
<small>患者さまの事前予約が完了いたしましたので、ご報告いたします。 ご記入の間違いがないようご確認下さい。</small>	
患者氏名	(フリガナ) _____ (漢字) _____
性別	_____
生年月日	_____
予約日	_____
予約時間	_____
当院D	_____
<small>※予約完了の患者様には「緩和ケア外来予約票」、「診療情報提供書」、診療情報(検査結果、フィルム等)をお渡しください。</small>	
切 取 り	
鹿児島市医師会病院 緩和ケア外来予約票 【患者さま用】	
患者氏名	(フリガナ) _____ (漢字) _____
性別	_____
生年月日	_____
予約日	_____
予約時間	_____
当院D	_____
受付場所	鹿児島市医師会病院 1階受付 <small>※受付は予約時間の15分前までにお済ませください。</small>
<small>【受診当日お持ちいただく物】</small>	
① この緩和ケア外来予約票	② 健康保険証(各種受給者証等を含む)
③ 紹介状(診療情報提供書)	④ 診療情報(検査結果、フィルム等)
⑤ お薬手帳	⑥ 当院の診察券(当院を受診したことがあり診察券をお持ちの方)

職場紹介

医療安全管理室

医療安全管理者 中馬千鶴

当院では平成17年4月に医療安全管理室が設置され、組織横断的に医療安全への取り組みが行われるようになりました。医療安全は患者さんや家族だけではなく医療従事者にとっても重要で、まさに医療の根幹だと思っています。

医療安全管理室は、週1回の医療安全管理ミーティング、月1回のセーフティマネジメント分科会・医療安全管理委員会との連携に重点をおき、質の高い組織的安全対策の取り組みを目指しています。構成メンバーは医療安全管理室長（副院長）と医療安全管理者（専従）の2名が在籍し、場所は新館5階にあります。

私は平成25年4月より医療安全管理者という大任を引き受けることになりました。医療安全管理者としての主な役割は、インシデントレポートからの情報収集と内容や傾向の分析を行い、関連部署のリスクマネージャーを交えた対策の検討、実践、評価につなげていくことです。また、インシデントレポート以外の情報収集として、院内ラウンドや各部門でのインシデントに関するカンファレンスへの参加も重要となります。今年の6月電子カルテ導入に伴い当院のインシデントレポートシステムも電子カルテネットワークで使用できる「インシデント管理システム」が導入されました。現在は新システムに伴う入力手順や様式の変更など職員へ周知できるよう働きかけています。

次に、医療安全推進のために、全職員を対象にした医療安全の講演会をはじめとして、各種研修会を開催しています。これによって職員の医療安全に対する意識を高め安全推進を図っています。今年度は第1回目の研修会「転倒・転落に関する話題」で、念願であった参加率100%を達成しました。医師、看護師、薬剤師や医療スタッフが各々の専門性を

持って互いに連携・補完し合いチーム力を高める事は、安全で質の高い医療の推進には必要不可欠ですが、各職種の医療安全に対する認識の違いがあると感じています。そこで第2回目は「チームで取り組む医療安全」をテーマに研修会を開催しました。

インシデントレポートシステムや安全担当者会議、各種研修会など安全管理システムはそれなりに充実してきました。しかし、医療内容とスタッフが年々変化する中で、いかに「安全文化」を定着させ、継続させていくかが大きな課題です。更に、今年度は電子カルテの導入により変更になった箇所のマニュアルの改定と、「安全・安心の医療」を提供するためにエラーを誘発しない環境整備や、事故を未然に防ぐシステムの構築を目標に、職種を超えたチームワーク作りに取り組んでいきたいと考えています。

皆様、今後ともよろしくお願い致します。



お知らせ

リハビリテーション室の拡充について



リハビリテーション室主任
理学療法士 前野裕一

当院のリハビリテーション室は平成21年12月より運用を開始してもうすぐ4年目を迎えるようになっています。

開設当初から理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種によるリハビリにより各職種、専門性を発揮し、患者様・ご家族を全力でバックアップして参りました。

平成25年8月1日より新館6F東側オフィススペース(190㎡)をリハビリテーション室として増設し、従来の新館5Fのスペース(103㎡)と

の併用で面積の拡張により、施設基準が脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)(200点)から脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)(245点)への算定変更に加え、心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)(200点)を算定できるようになりました。

新館6F東側オフィススペースは従来、医療情報室・診療録管理室・医療連携相談室・入院医事会計室として4部門の合同スペースとして運用しておりましたが、病院全体の経営改善への取り組みの一つとしてリハビリテーション室の拡張と増員により増収が期待できるとして、快く場所の移動を了解頂き、現在この場所でのリハビリを実施しております。

新館6Fリハビリテーション室は入ってすぐ目の前に桜島が眺望でき、また開放的で明るい患者様からも好評のもとにスタッフ一同がんばっています。



新入職員（新任医師）紹介



外科 部長待遇

<プロフィール>
(H 25. 7. 1~)

名前 ^{わたなべ} ^{てるひこ}
渡邊 照彦
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 今給黎総合病院
趣味 PC

都合4回目の医師会病院勤務となります。研修時代からの勉強の場を与えていただきました。これも何かの運命じみたものと感じています。



外科科長

<プロフィール>
(H 25. 7. 1~)

名前 ^{ひしま} ^{けんたろう}
槐島 健太郎
出身県 鹿児島県
出身大学 長崎大学
前勤務先 鹿児島市立病院
趣味 読書

医師会病院は忙しいというイメージでしたが、それとともに医師会会員の先生方から患者様方を預けられるので、責任も伴い大変プレッシャーを感じています。まだまだ若輩者ですがよろしく願いいたします。



麻酔科医師

<プロフィール>
(H 25. 8. 1~)

名前 ^{まつあ} ^{けいすけ}
松尾 敬介
出身県 佐賀県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 鹿児島大学病院
趣味 旅行、音楽

はじめまして、平成25年8月から麻酔科で勤務させて頂いております。鹿児島市医師会病院麻酔科の特長として手術麻酔以外にも重症急性膵炎や敗血症、透析患者などのICU管理を行っていることが挙げられます。私は医師としてまだ新米ですが、そのような重症な患者さんの全身管理を通して日々成長していけるよう努力して参ります。



麻酔科医師

<プロフィール>
(H 25.10. 1~)

名前 ^{おかだ} ^{なほこ}
岡田 尚子
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 鹿児島大学病院
趣味 お買い物

麻酔だけではなく、ICUでの全身管理をしっかりと学びたいと思います。

御指導・御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



放射線科医師

<プロフィール>
(H 25.10. 1~)

名前 ^{うえやま} ^{ともこ}
上山 友子
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学病院
前勤務先 南風病院
趣味 柔道

医師として6年目になります。よろしくお願い致します。



緩和ケア科 部長待遇

<プロフィール>
(H 25.11.21~)

名前 ^{たなか} ^{ちえ}
田中 千恵
出身県 鹿児島県
出身大学 九州大学
前勤務先 天陽会中央病院
趣味 特になし

麻酔科から緩和ケア科にトラバユして3年になります。病棟経験も浅く勤務時間も短いので、皆様に多々ご迷惑をおかけすると思います。色々教えて頂きながらがんばりたいと思います。よろしくお願い致します。



麻酔科 研修医

<プロフィール>

(H 25.11.1 ~)

名 前 遠矢 希
と お や のぞみ
出 身 県 宮崎県
出 身 大 学 広島大学
前 勤 務 先 鹿児島医療センター
趣 味 インテリア

鹿児島大学病院の桜島プログラムで、市立病院、医療センターと色々な病院をまわってきました。プログラムの一つとして医師会病院を選択したのは、麻酔とICUを学ぶのには県内で一番良いと伺っていたからです。生理学の知識に基づいた麻酔・全身管理の面白さ、難しさを日々実感しています。研修制度は、各々がどこでどれだけ頑張ったかで、大きく差のつくものです。優秀な先生方の下で学ぶ機会をいただけたので、日々大切に研修していきたいです。

【基本理念】

患者様の意思と権利を尊重し、会員や地域の医療ニーズに応え、安全で質の高い誠実な医療を提供します。

【基本方針】

- 1) 医療を通じて地域社会への貢献
- 2) 救急医療の推進
- 3) 専門性を追求した高度医療の実践と連携の強化
- 4) 予防医学と医療人教育

MSW 入職の抱負



医療連携・相談室
MSW、PSW
宮脇 公美子

10月から、医療連携・相談室で働かせて頂いています。

相談員として経済的、心理的、社会的な不安や悩みを抱えた患者様やご家族が、安心して医療を受けられるよう、微力ながら一生懸命サポートさせて頂きたいと考えています。

また、職員間での「報・連・相」を密にし、関係機関・施設との連携を図り、様々な医療ニーズに応えられるように、日々努めてまいります。

まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

鹿児島市医師会病院 連携室だより No.24

創刊日：平成17年8月10日

発行月：平成25年12月（年3回発行）

発行者：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号

鹿児島市医師会病院 院長 田畑 峯雄

担 当：医療連携・相談室

T E L：099-254-1125（代表）

T E L：099-254-1121（医療連携・相談室）

F A X：099-254-1308（医療連携・相談室）

ホームページ：http://city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。